

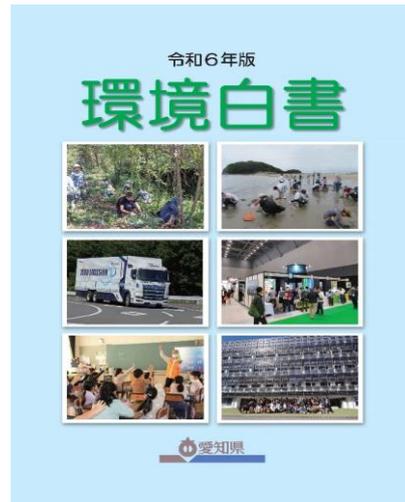


環境かわら版

2025年1月号(344号)



「あいち森と緑づくり活動発表・交流会」を開催します(P2)



令和6年版環境白書を発行しました(P3)



かがやけ☆あいちサステイナ研究所の成果発表会を開催しました(P4)



「愛知県環境調査センター 一般公開デー」を開催しました(P6)



モリゾー キョロロ
あいちSDGsアンバサダー ©GISPRI

愛知県は「SDGs 未来都市」として、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた取組を推進しています。県の環境に対する取組は、環境局 Web ページ「あいちの環境」で紹介しています。



「あいちの環境」(<https://www.pref.aichi.jp/site/kankyo/>)



「あいち森と緑づくり活動発表・交流会」を開催します



愛知県では、森と緑づくりにつながる活動や環境学習を行う NPO・ボランティア団体、市町村などに対し、「あいち森と緑づくり税」を活用した「あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業交付金」による支援を行っています。

この度、今年度の取組事例の発表や参加者同士の情報交換などを行う「あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業 活動発表・交流会」を開催します。

森や緑に関する環境保全活動を実施している方、他の団体の活動を知りたい方、新たに環境活動を始めたい方など、どなたでもご参加いただけますので、是非お越しください。

- 1 日時 2月12日(水) 13:30～16:30
- 2 場所 愛知県西三河総合庁舎 10階大会議室
(岡崎市明大寺本町1-4)
- 3 定員 100名(申込先着順)

4 参加費 無料

5 申込方法

氏名、団体所属の方は団体名、電話番号、メールアドレスをご記入の上、FAX 又はメールによりお申し込みください。

FAX：052-954-6914

メール：kankyokatsudo@pref.aichi.lg.jp

6 申込期限

2月5日(水)まで

詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/happyou-kouryuu.html>)



あいち森と緑づくり 交流会

検索

環境活動推進課 調整・環境配慮行動グループ
電話 052-954-6241 (ダイヤルイン)

「東海三県一市グリーン購入キャンペーン」を実施します



買い物をするときに、必要なものかどうかを十分に考慮した上で、価格や品質、利便性、デザインだけでなく、環境のことを考え、環境負荷ができるだけ少ないものを優先して購入することを「グリーン購入」といいます。

愛知県は、グリーン購入の普及と定着を図るため、岐阜県、三重県、名古屋市及び関係団体・事業者と連携・協働して、「東海三県一市グリーン購入キャンペーン」を2002年度から実施しています。

キャンペーン期間中、参加店舗において、環境ラベルが付いた商品、地元・旬のもの、詰め替え商品又は環境配慮商品を購入して、キャンペーンにご応募いただいた方の中から、抽選で素敵な商品をプレゼントします。是非ご参加ください。



1 キャンペーン期間

1月10日(金)から2月9日(日)まで

2 応募方法

参加店舗に備え付けの応募はがき又は東海三県一市グリーン購入キャンペーン Web ページから応募フォームにアクセスし、ご応募ください。

(<https://www.pref.mie.lg.jp/eco/earth/12569014784.htm>)

詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.mie.lg.jp/common/01/ci500005152.htm>)



グリーン購入キャンペーン

検索

環境活動推進課 調整・環境配慮行動グループ
電話 052-954-6241 (ダイヤルイン)

「生物多様性サポーターフォーラム」を開催します



生物多様性を守ることの大切さについて、子どもから大人まで楽しみながら学ぶことのできる「生物多様性サポーターフォーラム」を開催します。

- 1 日時 2月11日(火・祝) 13:30~16:00
(受付開始 13:00~)
- 2 場所 愛知県産業労働センター(ウインクあいち)
5階小ホール2(名古屋市中村区4-4-38)
- 3 主な内容

(1) 講演: ガサガサで見つける都市の生物多様性

[講師] マーシー氏

チャンネル登録者数約43万人のYouTubeチャンネル「マーシーの獲ったり狩ったり」で、外来種駆除や在来種の観察について配信しているYouTuber。



(2) 生物多様性クイズ大会

親子で楽しめるクイズに挑戦!

4 定員 300名程度(事前申込制)

5 参加費 無料

6 申込方法

下記Webページをご確認ください。

[参考] あいち生物多様性サポーターズ

自然や生きものを応援してくれるサポーターを募集しています。サポーター登録者には、当日フォーラム会場にて特製グッズをプレゼントします。

フォーラム申込と同時にサポーター登録が可能ですので、是非ご登録ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/seibutu-forum.html>)



生物多様性サポーターフォーラム

検索

〔自然環境課 生物多様性保全グループ
電話 052-954-6475 (ダイヤルイン)〕

令和6年版環境白書を発行しました



環境白書は、愛知県の環境の状況及び環境の保全の施策をとりまとめたもので、県環境基本条例に基づき、毎年県議会に提出しています。



県議会直江議長(中)及び新海副議長(右)に
武田環境局長から報告(12月16日)

1971年の初刊発行以来54冊目となる「令和6年版環境白書」は、以下の内容を掲載しています。

○ 第1部「特集」

三河湾における環境再生に向けた取組

○ 第2部「令和5年度の環境の状況と施策」

令和5年度における県の大气環境、水環境等の状況とその保全のための施策

○ 資料編(※Webページのみ)

環境基準や各法令に基づく基準値など

<環境白書をご覧になりたい方は>

「愛知県県民相談・情報センター」の情報コーナー(愛知県自治センター2階)で、1部2,040円で販売しています。また、以下のWebページに全文を掲載しています。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo/0000057223.html>)



愛知県 環境白書

検索

〔環境政策課 企画・広報グループ
電話 052-954-6210 (ダイヤルイン)〕

かがやけ☆あいちサスティナ研究所の成果発表会を 開催しました



持続可能な未来のあいちの担い手を育成するため、大学生が研究員となり、パートナー企業からの環境課題に対して解決策を提案する「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」の成果発表会を開催しました。

第10期生となる39名の研究員は、6月23日の開所式以降、8チームに分かれてパートナー企業を訪問し、環境取組の現地調査や担当者とのディスカッションを行うとともに、チームミーティングを繰り返し、課題の解決策を検討してきました。

成果発表会では、各チームの研究成果の発表と併せて、研究活動の締めくくりとなる修了式と表彰式を行いました。

1 概要

日時 12月8日（日）13:00～16:30

会場 名古屋大学 EI 創発工学館 FUJI ホール

参加者 147名

2 研究成果発表会

各チームは、10分間という短い時間の中で、創意工夫を凝らした発表を行い、パートナー企業の代表者及び審査員から講評をいただきました。



「チーム・マックスバリュ」の発表

3 修了式

知事は研究員に対して、半年間にわたる研究活動を労い、「持続可能な未来のあいちの担い手として活躍することを期待する」とエールを送りました。また、研究員を代表して「チーム・サガミ」の上田悠馬さんが、知事



修了証授与

から修了証を受け取り、関係者への感謝の言葉とともに、「私たちは本日まで8チームに分かれて力を尽くしてきましたが、これからはチーム・愛知の一員として、サスティナ研究所で培った力を発揮していきます」と決意を述べました。

4 表彰式

審査員審査と来場者投票の結果により、最優秀賞・優秀賞（2チーム）を選定し、最優秀賞には、店舗で廃棄されるそばを活用し食品ロス削減と地域交流を図る企画「廃棄そばに新たな価値を！～『環境』と『ひと』にやさしい取組～」を提案した、「チーム・サガミ」が輝きました！



最優秀賞を受賞した「チーム・サガミ」と知事

受賞結果

賞	受賞チーム
最優秀賞	チーム・サガミ
優秀賞	チーム・LIXIL
	チーム・マックスバリュ

5 その他

「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」の詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo/sustaina-ken.html>)



あいちサスティナ研究所

検索

環境政策課 企画・広報グループ
電話 052-954-6210 (ダイヤルイン)

「令和7年度愛鳥週間用ポスター原画コンクール」で 愛知県選考の2作品が受賞しました



「令和7年度愛鳥週間用ポスター原画コンクール」
(主催：(公財)日本鳥類保護連盟)において、愛知県
選考作品として推薦した南山中学校女子部3年の堀
馨子さんの作品が文部科学大臣賞を、名古屋市立
大清水小学校6年の小島一夏さんの作品が林野庁長
官賞を受賞しました。

愛鳥週間用ポスター原画コンクールは、全国の小・
中・高等学校等の児童・生徒を対象に次年度の愛鳥週
間用ポスターの原画を募集し、優秀な作品を表彰す
るものです。県内からは、527校の小・中・高等学校
等から計13,476点の作品の応募があり、県の審査会
において特に優秀と認められた30点を選考作品とし
て、全国コンクールへ推薦しました。全国コンクール
では、各都道府県から推薦のあった418点の作品に
ついて審査が行われました。

<受賞作品>

文部科学大臣賞

林野庁長官賞



堀馨子さんの作品



小島一夏さんの作品

今回の受賞を受け、12月19日に愛知県公館におい
て受賞伝達式を行い、2名の受賞者に対し、知事から
賞状と楯をお渡ししました。



受賞伝達式の様子(記念撮影時)

<募集結果>

学校区分*1	愛知県 (全国)		
	学校数	応募総数	送付数*2
小学校	353 (1,387)	9,262 (19,544)	18 (154)
中学校	165 (1,193)	4,162 (12,141)	9 (148)
高等学校	9 (267)	51 (1,713)	3 (116)
学年不明	- (-)	1 (-)	- (-)
合計	527 (2,847)	13,476 (33,398)	30 (418)

*1 学校区分：特殊教育諸学校の生徒の作品は、小学校・中学校・高
等学校の同等の学年に含む。

*2 送付数：愛知県又は各都道府県が推薦した作品数

<入賞作品数>

区分	全国	愛知県
(公財)日本鳥類保護連盟総裁賞	1	-
環境大臣賞	3	-
文部科学大臣賞	3	1
林野庁長官賞	3	1
(公財)日本鳥類保護連盟会長賞	9	-
入選	29	-

なお、受賞作品を含む県が推薦した作品30点につ
いては、弥富野鳥園と県庁地下通路で展示します。是
非ご覧ください。

●弥富野鳥園 2階会議室

弥富市上野町2-10 TEL:0567-68-2338

1月7日(火)から2月2日(日)まで

開園時間9:00~17:00(月曜日休園)

※1月13日(月)は開園、1月14日(火)は振
替休園

●県庁本庁舎・西庁舎間の地下通路

5月12日(月)から5月16日(金)まで

詳細はWebページをご覧ください。

([https://www.pref.aichi.jp/press-
release/r7aicho-kekka.html](https://www.pref.aichi.jp/press-release/r7aicho-kekka.html))



〔自然環境課 生物多様性保全グループ
電話 052-954-6475 (ダイヤルイン)〕

「三河湾藻場再生体験会」を開催しました



愛知県では、藻場の多様性と再生への取組について学び、県の里海である三河湾に関心を持っていただくため、11月22日に西尾市佐久島で「三河湾藻場再生体験会」を開催しました。

体験会では、ブルーカーボンを始め、藻場の様々な役割について学んだ後、藻場を再生するため、アマモの種を紙粘土で作った団子に埋め込む作業を行いました。

その後、参加者は漁船に乗って海へ出て、作成した団子をダイバーが海底に設置する作業や海中の藻場の様子を、水中ドローンを使って観察しました。

当日は天候にも恵まれ、参加された20名の方には、楽しみながら藻場やブルーカーボンの重要性を学んでいただくことができました。



アマモの種の団子づくり



漁船での海中観察

三河湾でのブルーカーボン推進の取組については、こちらのWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/bluecarbon.html>)



水大気環境課 生活環境地盤対策室
三河湾環境再生グループ
電話 052-954-6220 (ダイヤルイン)

「愛知県環境調査センター 一般公開デー」を

開催しました



環境調査センターでは、より多くの皆さんに環境について関心を持っていただくため「環境調査センター 一般公開デー」を12月7日(土)に開催し、約350名の方にご来場いただきました。

当日は、普段は見られない環境分析室を公開し、職員が水や大気等の分析方法や分析に使う機器の解説を行いました。このほか、騒音計による色々な音の測定、実体顕微鏡によるミクロの世界の観察、水分析の前処理や酸性雨に関する講座、巨大デジタル地球儀を用いた異常気象に関する講座などを行いました。



簡単な実験を通して酸性雨について学習

また、あいちSDGsアンバサダーのモリゾー・キッコロも登場し、握手や記念撮影など来場者と触れ合いました。

来場者からは、「測定装置の説明が面白く、触ってみて実感できた」「実体顕微鏡で見たいろんなアリの特徴がリアルに見えて感動しました」などの感想があり、環境について楽しく学んでいただきました。

環境調査センター 企画情報部、総務課
電話 052-910-5489 (ダイヤルイン)



実体顕微鏡でミクロの世界を観察

「災害廃棄物処理図上演習」を実施しました



大規模災害時に発生する大量の廃棄物を適正かつ迅速に処理することは、生活環境の維持だけでなく、早期の復旧・復興のためにも不可欠です。

愛知県が策定する「愛知県災害廃棄物処理計画」では、災害時の対応力を向上するため、災害廃棄物対策を担う人材の育成を行うこととしており、この度、市町村及び一部事務組合職員を対象とした災害廃棄物処理図上演習を、民間事業者団体等*からも協力をいただき、11月7日(愛知県西三河総合庁舎)、8日(愛知県図書館)に実施しました。

*愛知県衛生事業協同組合、(一社)愛知県産業資源循環協会、(一社)愛知県解体工事業協会、(一社)日本建設業連合会中部支部、(一社)愛知県環境測定分析協会

図上演習では、参加者がグループに分かれ、被災した自治体の廃棄物部局職員として、大規模地震発生後3日目～5日目の3日間に想定される様々な課題

への対応を模擬的に実践・確認しました。

参加者は時間経過とともに次々と示される状況に対し、迅速な判断・対応が求められる切迫感を疑似体験し、演習後の振り返りでは、「業務手順や連携体制を確認できた」「事前の備えを十分に進めたい」「大変有意義であった」等の感想が出されました。



図上演習の様子

資源循環推進課 一般廃棄物グループ
電話 052-954-6234 (ダイヤルイン)

「中部圏低炭素水素認証制度」に基づき、 2023年度の低炭素水素の製造実績を認証しました



〔2023年度低炭素水素製造量〕

プロジェクト名	申請者	低炭素水素製造量 上段 m ³ N-H ₂ (下段 t-H ₂)
知多市・豊田市再エネ利用低炭素水素プロジェクト	トヨタ自動車㈱	236,416 (21.25)
セントレア貨物地区水素充填所プロジェクト	㈱鈴木商館	16,390 (1.47)
豊田自動織機高浜工場再エネ利用低炭素水素プロジェクト	㈱豊田自動織機 東邦ガス㈱	25,872 (2.33)
元町工場太陽光水電解水素ステーションプロジェクト	トヨタ自動車㈱	1,176 (0.11)
大口第2部品センター太陽光水電解水素ステーションプロジェクト	トヨタ自動車㈱	43,270 (3.89)
東邦ガス水素ステーション豊田市産他再エネ価値利用水素供給プロジェクト	東邦ガス㈱	1,293 (0.12)
元町工場太陽光アルカリ水電解水素製造プロジェクト	トヨタ自動車㈱	65,210 (5.86)
ブラザー工業瑞穂工場水素吸蔵合金グリーン水素充填・配送プロジェクト	ブラザー工業㈱	817 (0.07)
合計		390,444 (35.10)

愛知県では、「中部圏水素・アンモニア社会実装推進会議」を通じて、水素の製造、輸送、利用に伴うCO₂の排出が少ない水素を「低炭素水素」として認証・情報発信する「中部圏低炭素水素認証制度」により、中部圏の低炭素水素サプライチェーン構築に取り組む事業者を支援しています。

この度、8件のプロジェクトについて、2023年度における低炭素水素の製造実績を認証しました。

1年間の低炭素水素製造量の合計は燃料電池自動車約6,270台分の燃料に相当し、CO₂削減効果は一般家庭約190世帯分の年間CO₂排出量に相当します。

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/teitansosuisoininsyou2023.html>)



地球温暖化対策課 活動支援グループ
電話 052-954-6887 (ダイヤルイン)

愛知県気候変動適応センターでは、12月7日(土)に開催された「環境調査センター 一般公開デー」において、「巨大デジタル地球儀で見る異常気象」と題して催事を行いました。

巨大デジタル地球儀(ダジック・アース*)には、日本に大雪をもたらした2024年1月下旬と、甚大な被害をもたらした台風10号が発生した8月下旬の2つの時期の地球全体の雲の様子を投影し、参加者にご覧いただきました。

* ダジック・アースとは、地球を立体的に表示し、科学を楽しんでもらうものです。

また、国立環境研究所地球システム領域地球システムリスク解析研究室の塩竈秀夫^{しおがまひでお}室長に、ダジック・アースを用いた特別講演「孫は祖父母が遭遇しないような暑い日と大雨を何度経験するのか?」を行っていただきました。

講演では、気候予測の結果をより自分事として捉えてもらうために、1960年から2040年まで生きる人(祖父母)に2020年に孫が生まれ、その孫は2100年まで生きるというケースを例にあげました。そして、気候モデルによる気候変動予測データを用いて、祖父母が一生の間で一度も遭遇しないような極めて暑い日や大雨を、その孫は生涯で何日経験するかについて解析した結果を、次のとおり解説しました。

- ・気候変動対策を導入しないシナリオでは、日本で生まれた孫世代はその生涯で、祖父母が経験しない暑い日を400回程度、大雨を3回程度経験する。
- ・パリ協定の2℃目標を実現したシナリオでは、孫世

代は同様の経験を、それぞれ20回程度、2回程度に抑えられる。

- ・世界的にみると、気候変動対策を導入しないシナリオでは、孫世代が1,000回以上の暑い日と5回以上の大雨にさらされる地域があり、気候変動の地域間の不公平性が存在する。
- ・私たちの世代が温室効果ガスの排出量を削減する緩和策をとることで、私たちの子どもや孫が経験する気候変化や地域間不公平性を大きく抑制することができる。
- ・避けられない気候変化に対しては、影響を低減するための適応策が必要であり、緩和と適応の両輪が重要である。



特別講演の様子

参加者からは、「子どもが地球儀に興味津々でいい学びになった」「特別講演のお話は興味深かった。できる対策はしていきたい」などの感想が寄せられ、多くの参加者に気候変動について自分事として捉えていただくことができました。

環境調査センター 企画情報部
愛知県気候変動適応センター
電話 052-910-5489 (ダイヤルイン)

※掲載のイベントや講習会等は、天候の影響等により、内容を変更又は中止する場合があります。

愛知県環境情報紙「環境かわら版」(第344号)

発行日 2025年1月6日

編集・発行 愛知県環境調査センター 企画情報部

所在地 〒462-0032 名古屋市北区辻町字流7-6

電話 052-910-5486(ダイヤルイン)

URL <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-c/0000007029.html>
(今月号とバックナンバーを掲載しています。)



掲載記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いいたします。